

「お笑い芸人と学ぶ」

# SDGs

## ババぬきカードゲーム

### 基礎編

### 解説シート



指示カードの詳しい解説や補足情報載せています。ゲームをした後に、気になったカード内容の解説を読んで、SDGs17の目標や課題について理解を深めましょう。このシートを見ながら、グループのみんなと気づいたことを話し合ってみましょう。



### 指示カード

### カード解説

1 貧困をなくそう

日本の子どもの7人に1人は経済的に貧しいです。私の今日の食事はお昼の給食だけです。お腹が空いてつらいです。勇気を出して、「助けてー」と大声で叫ぶと、両隣の人が手札を1枚ずつ引いてくれます。  
※手札が1枚の場合は、右隣の人に引いてもらいます。

2 飢餓をゼロに

世界の10人に1人は、栄養のある食事ができません。お金があれば、栄養が足りない赤ちゃんにミルクをあげることができます。お金持ちの人が貧しい私に寄付をしてくれました。お礼として左隣の人に自分の好きなカードを1枚渡します。

3 すべての人に健康と福祉を

世界では約2,300万人の子どもが、必要な予防接種を受けることができません。私は予防接種を受けられず、重い病気にかかり、頭がクラクラしています。間違えて両隣の人からカードを1枚ずつ引いてしまいます。

4 質の高い教育をみんなに

世界では学校に通えない小学生が10人に1人います。私は、学校に行っていないため、文字が読めません。ババぬきの説明書が読めず、「カードをたくさん引いたほうが得だよ」とみんなから、だまされてしまいました。全員からカードを1枚ずつ引きます。

5 ジェンダー平等を実現しよう

日本の女性の政治家の数はとても少なく、世界で165位です。なので、女性の声あまり通りません。私は初の女性総理大臣になり、保育園の数を増やすことで、働く女性が増えました。すると、子どもの数が増えました。記念に自分が欲しい番号のカードをもらいます。

6 安全な水とトイレを世界中に

世界では約20億人が排泄物が混ざった水を飲んでいません。私は、往復何時間もかけて、水をくみに行っているため、学校に行けません。しかも、その水に、悪い菌が混ざっていたので病気になりました。1回休みです。次の自分がカードを引く順番のときに、カードを引けません。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

日本は、自然の力を使って電気を作る「再生可能エネルギー」を2割しか使っていません。私は、環境のために、自宅に太陽光パネルを設置しました。次に自分がカードを引く順番が回ってくるまで、手札の数字の面を表にして、頭の上に掲げて光を集めます。

### カード解説

●ワクチンで救える命  
本来なら予防や治療できるはずの病気で、たくさんの命が失われています。世界では半分の人が予防接種など基礎的な医療も受けられません。抵抗力の弱い子どもは、ワクチンで防げるはずの病気にかかってしまい、命の危険にさらされています。

●学校に行けない子どもたち  
世界では、学校に行けない小学生が10人に1人います。学校が近くにない、家が貧しく仕事や家事をしている、戦争に巻き込まれたり、子ども兵として戦っているなど理由はさまざまです。

●女性政治家が0人の地方議会!?  
女性の方が育児や家事の負担が大きいなど、不平等があります。このような当事者がかかえる課題や声は、伝わりにくいです。日本の地方議会の約2割は、女性が0人です。女性の数が少ないと、女性の声は反映されにくくなります。「どうしたら子育てと仕事を両立できるのか」「どうしたら性被害を減らせるのか」。これらは男女ともに当事者になりうる問題ですが、特に女性の視点や声が議題にあがりにくいのです。

●水くみで学校に行けない  
不衛生な水を飲むことで、毎年約50万人もの子ども(5歳未満)が下痢などで命を落としています。しかも子どもや女性が、遠くまで水をくみに行かなくてはなりません。そのため仕事をしたり学校に行ったりする時間がなくなってしまいます。また、不衛生なトイレは野外にあるなどプライバシーが守られていないことも多く、女性や子どもが暴力を受ける危険な場所にもなりがちです。

●地球温暖化をストップする電力  
日本が主に利用している石油や石炭由来のエネルギーは、作り出すときに二酸化炭素が発生し、地球温暖化の原因の一つになっています。そこで二酸化炭素の排出を抑える「再生可能エネルギー」を使おうという動きがあります。例として、太陽光発電、水力発電、風力発電などがあります。

日本では、職場での問題が理由で、自殺した人が年間約2,000人います。私は会社から、「24時間働きなさい！」と毎日いわれています。ついに私は働きすぎで倒れ、入院することになりました。お見舞いに来た右隣の人からカードを1枚引きます。

今から70年ほど前に、日本では橋がたくさんつくられました。しかし現在、地方では古い橋を修理するお金がありません。私は、有名人に寄付をお願いすることにしました。左隣の人が10秒数える間に橋がつく有名人の名前をあげてください。いえた人数分のカードを右隣の人にあげます。 ※有名かどうかの判断も左隣の人がします。

世界の約15%の人は障がいがあります。障がいのある人は、教育や仕事などさまざまな場面で困っています。私は、手が不自由な人の気持ちを知るために、次の順番から右手を使いません。必要があれば周りの人に助けてもらいましょう。

世界の約9割の人が汚い空気を吸っています。私の街は、車の排気ガスでいっぱいです。私は環境に優しい電気自動車を買いました。今日は初めての乗車です。全員の手札を見ながら、グループの周りを1周し、好きな人から欲しいカードを1枚もらいます。

日本は、1年間で食料を約600万トン捨てています。1人当たり、毎日おにぎりを1個捨てています。次にカードを引く順番が回ってくるまで、全身でおにぎりを表現し続けます。

●働きすぎに要注意 日本は、経済的には豊かな国ですが、働き方には多くの問題を抱えています。働きすぎによる過労死や、職場内で優位な立場を利用して嫌がらせをするパワハラや、長時間労働をさせたり、過剰なノルマを強いたりするブラック企業などが大きな問題になっています。日本では働き方改革を進めるため、企業に対して、有給休暇を消化することを義務づけたり、基準以上の残業をさせた場合、罰則を科したりする法律が作られました。

●2033年には日本の橋の6割が老朽化する?! 日本は、今から約70年前、経済の発展にともない道路やトンネル、橋、ダムなど生活に欠かせないものがつくられました。これらが寿命を迎え、老朽化が急速に進んでいます。橋やトンネルが崩壊すれば人の命にかかわる大きな事故になります。これらを修復、維持管理するための人材もお金も足りていません。

●広がる格差と、なくなる差別人種が違うから、あの人は避けよう」「障がいがある人の給料を下げよう」「女性だからテストの点数を下げよう」など、世界には、年齢、性別、障がい、人種や言葉、宗教、文化などの差別があります。また、お金持ちの人と貧しい人の格差も問題となっています。2017年には世界人口のもっとも豊かな1%の人が世界全体の富の33%をもっていました。不平等をなくすための意識改革やルールづくりが必要です。

●汚い空気で健康被害 経済発展のために、車の排気ガスや工場からの煙を出し続け、その汚い空気を吸うことによって健康被害がおきています。なんと世界の9割の人が汚い空気を吸っているのです。また、世界では、貧しい人たちが暮らす「スラム」があり、ゴミであふれているため火事が発生したり、治安が悪く、犯罪が生まれる原因になっています。このように都市にはさまざまな課題があり、汚染や貧困を解決することが求められています。

●廃棄食品が食糧支援の2倍 日本では食品ロス(食べられるのに捨てられている食品)をたくさんしています。これは、世界食糧計画(WFP)による食糧支援のおよそ2倍弱です。この食糧が飢えに苦しむ地域へ援助されたら、もっと救われる人はいるはずです。

もし気温が4℃上昇すると、最大で約7億人の住む土地が水没します。それは、温暖化により、南極の氷が溶けて、海の水が増えるからです。海が近い私の街は沈みました。カードが濡れてしまったため、右隣の人と手札を全部交換します。

13 気候変動に具体的な対策を

メバチマグロはたくさん捕られたので、1996年に絶滅危惧種になりました。ここは未来の日本。貴重なマグロはお寿司屋さんで1皿1万円です。でも関係ありません。なぜなら私はお嬢様だからです。「マグロを2皿、いただきますわ!」左隣の人からカードを2枚引きます。

14 海の豊かさを守ろう

世界では毎年、北海道以上の大きさの森林が失われています。私は「環境のために、森林を守る」といいました。ですが、貧しい友だちは、「森林をなくし、農地を作り、稼ぐんだ!」といいました。世界に住む人のいろいろな気持ちをj知るため、全員すべての手札を右隣の人に渡します。

15 陸の豊かさを守ろう

16 平和と公正をすべての人に

世界では、戦争、子どもへの暴力、不正な取引などさまざまな不公平があります。私も不公平な条件のせいで、ゲームが終了するまで手札の数字の面を見せ続けます。ただし、1枚だけ手札を裏返せます。 ※ゲームが終わるまで、どんな指示があってもこの状態を続けてください。

17 パートナースhipで目標を達成しよう

社会の課題を解決するには、みんなの協力が必要です。みんなで5秒間、「笑顔で”見つめ合”みましょう。 ※このカードだけは、早くあがった人も含めます。全員でやりましょう。

●温暖化で異常気象が増えている?! 二酸化炭素を出しすぎていることにより、地球の平均気温が上がっているといわれています。気温が上がることにより、南極の氷が溶けて海面が上昇し、人間や動物がすむ場所がなくなります。また、農作物が採れなくなったり、感染症が流行したり、大型台風などの異常気象が増えるなどの問題も増えてきます。

●捕られ、汚され...海の生き物の一大危機! 人間の食料のために魚を捕りすぎると、生態系が崩れてしまいます。例えば、私たちがお寿司などで食べるメバチマグロも捕りすぎにより、絶滅危惧種に指定されました。現在、世界の人口が増え、魚の需要も増える中、魚の数が減っています。また、世界中の海に年間約800万トンのプラスチックゴミが流出していると試算されています。2050年の海は、魚よりゴミの方が多くなるという予測もあります。

●人間が生き物のすみかを奪っている 世界の森林面積は約40億ヘクタールで、全陸地面積の約3割を占めています。しかし、世界の森林は減少を続けており、毎年1,000万ヘクタールが減少しています。砂漠化の原因は、農地や都市を拡大したり、木を使って紙にしたり、家を作る材料にしたり、工場を作ったりするなど人によるものもあります。森林がなくなると、生き物のすみかがなくなり、生態系が崩れます。

●裁判もされずに投獄される 世界には、政治や法律などの仕組みが不十分なため、苦しむ人がたくさんいます。裁判もされずに投獄されてしまう人、生まれても出生登録がされず、教育や医療サービスを受けられない人、他にも、子どもへの虐待、殺人、汚職や賄賂などさまざまな不平等があります。危険にさらされた弱い立場の人を守るために、ルールを作ったり、国をこえて連携することが大切です。

●国同士が連携する意義 SDGs達成のためには、世界中の人々の協力が必要です。特に先進国が途上国に対して、技術やお金を支援したり、対等な貿易をし経済発展をすることが欠かせません。日本は世界にたくさん学校を建設しています。そこで育った子どもたちは、日本と仲良くしたいと思うでしょう。日本が震災などで困った際に支援してくれたり、日本とは戦争しないでおこうと思ってもらえたりするなど、外国との関係性を作るためにも大切です。